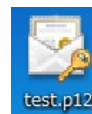
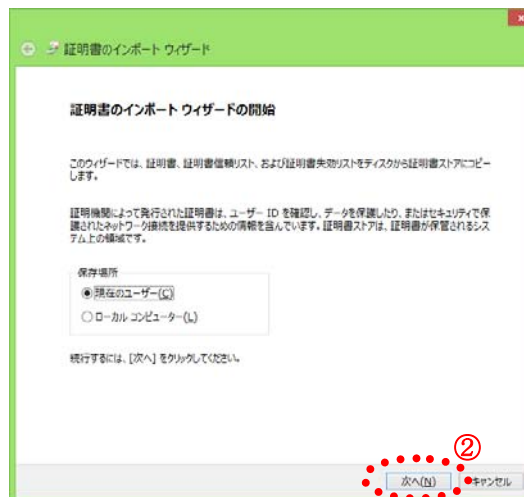


インポートウィザードを起動して証明書をインポートします。 **インポート**

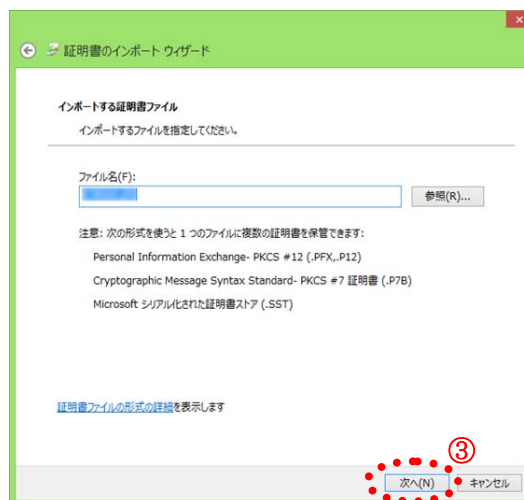
- ① 管理者から配布された証明書ファイル (xxxxxx.p12 ファイル) をダブルクリックします。



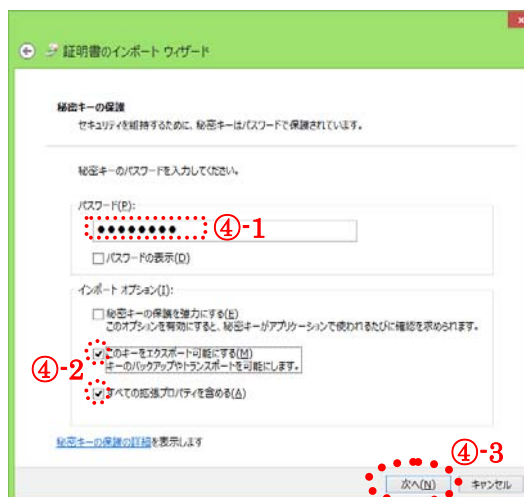
- ② 「証明書のインポートウィザード」が起動します。 **次へ** ボタンをクリックします。



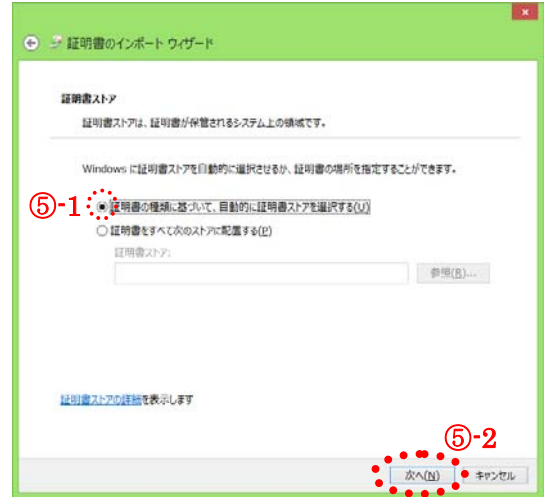
- ③ 変更する必要はありません。 **次へ** ボタンをクリックします。



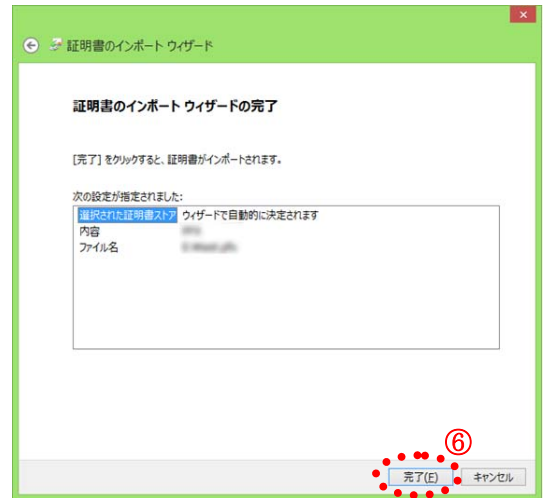
- ④ 管理者から証明書ファイルと一緒に配布されたパスワードを入力し、「このキーをエクスポート可能にする、キーのバックアップやトランスポートを可能にします。」と「すべての拡張プロパティを含める」を✓して、 **次へ** ボタンをクリックします。



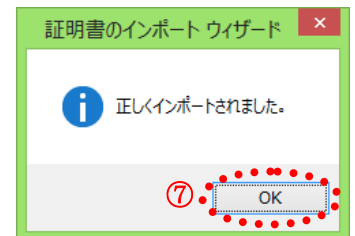
- ⑤ 「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」のオプションが選択されていることを確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



- ⑥ 証明書のインポートウィザードの完了画面が表示されます。**完了** ボタンをクリックします。




- ⑦ 「正しくインポートされました」というメッセージが表示されたことを確認し、**OK** ボタンをクリックします。



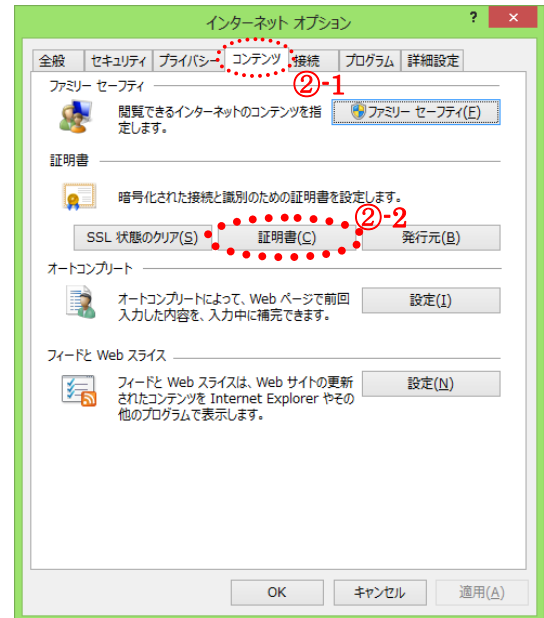
以上で OS へのインポートは終了です。

次に証明書ストアに組み込まれたことを確認します。 **確認**

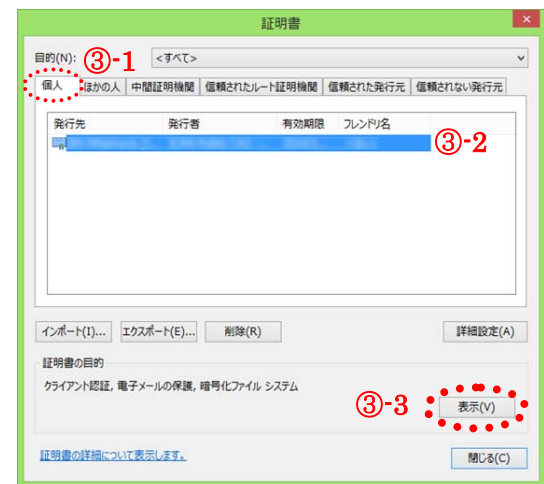
- ① Internet Explorer を開き、 (ツール) ボタンをクリックし、《インターネットオプション》をクリックします。



- ② [インターネットオプション] ダイアログボックスの「コンテンツ」タブをクリックし、「証明書」ボタンをクリックします。

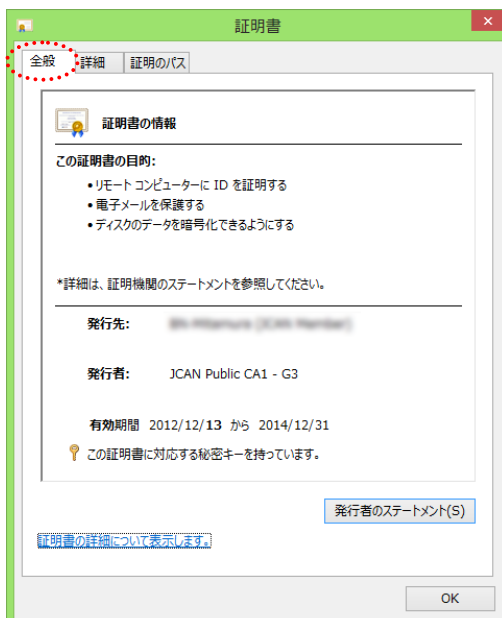


- ③ 「個人」タブに新しい証明書が組み込まれていることを確認します。
確認する証明書を選択し、「表示」ボタンをクリックします。

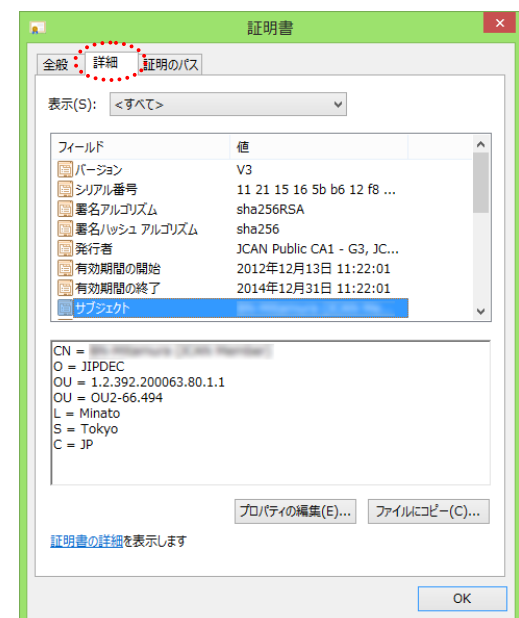


表示された [証明書] ダイアログボックスで確認できる内容は、他の Windows と同様です。インストールガイド (<http://www.jipdec.or.jp/project/anshinkan/jcan/install.html>) の「1. OS へのインストールガイド(Windows XP)」の P5 をご参照ください。

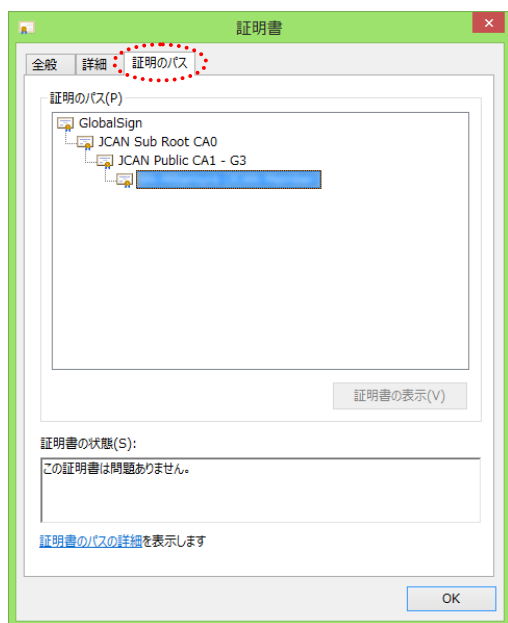
■ 「全般」 タブ



■ 「詳細」 タブ



■ 「証明のパス」 タブ



確認後は、**OK** ボタンをクリックして [証明書] ダイアログボックスおよび [インターネットオプション] ダイアログボックスを閉じます。

以上で確認は終了です。Windows を再起動してください。

なお、Windows 8 の標準アプリ「メール」は S/MIME には対応していませんので、メールの署名・暗号化で利用する場合は、Outlook2010 あるいは、Windows Live Mail 等、S/MIME 対応メールアプリをインストールし、インストールガイド (<http://www.jipdec.or.jp/project/anshinkan/jcan/install.html>) の「2. アプリケーションへのインストールガイド」の該当マニュアルをご参照ください。